

学校だより

vol.6

2026年7月1日発行

卒業生

※ 私たち卒業生26名はトヨタ看護専門学校を卒業し、新たな一歩を踏み出します。未熟な私たちを温かく受け入れ、貴重な機会をくださった患者さん。時に優しく、時に厳しく指導してくださった指導者の皆様。知識や技術だけでなく人間性まで考え親身に寄り添ってくださった先生方。そして、どんな時もそばで支えてくれた友人や家族。皆様の支えがあったからこそ、今日この日を迎えることができました。心より感謝申し上げます。この3年間、ともに学び、励まし合い、笑い合いながら歩んできた第37期生のみんな。入学当初は不安もありましたが、共に看護師を目指した日々はかけがえのない宝物であり、とても幸せな時間でした。これから私たちは看護師としてそれぞれの道を歩んでいきます。この3年間で学んだ自己の看護を振り返り、成長できるよう、学び続けて参ります。



3年生

領域実習が始まりました

※ 領域実習で学んだことは、個性性を踏まえて患者さんを捉えることの必要性です。それぞれがもつ疾患、状態に対して必要な“看護”を考えると、教科書通りのものはありますが、その方にとって必要なものは患者さんのもつ思い、ニーズによって異なります。その思いを知るために患者さんとのコミュニケーション、様々な視点からの観察が必要だと実感しています。これらの実習でも病態が難しく、たくさんの観察が必要な患者さんに対しても、病気をばりに目を向けず、患者さんのもつ価値観や思いを汲み取り、寄り添う看護を忘れずに実習に取り組みたいです。



※ 今までの実習では、練習、事前学習などの事前に準備をしておくこと、実習中にも学び続けることの必要性について学びました。臨床では、教科書に記載してあることのほかに実際の患者さんの既往歴や生活歴、性格、家族構成などが複雑に絡み合い現在の症状に繋がっているため、教科書や事前学習を活用した自分なりのアセスメントをする必要があります。特に終末期看護では、今までの座学や事前学習で学んできた死への受容過程や対象を支える存在などについての理論を持っても、実際の患者さんに照らし合わせて、アセスメントを展開していくことや看護実践に繋げていくことの困難さを感じました。また、実習中には、看護実践で困ったこと、患者さんの発言で気になったことについて、適宜カンファレンスを活用し、メンバーや指導者から多角的な助言を受けることで、自分の捉え方が広くなり、より良い関わりを持つことができたと感じています。これからの実習も、自分の中で実習のイメージを持った上で挑み、それを活用し、メンバーへ相談することで幅広い患者理解に努め、より良い看護実践をしていきたいと考えています。

※ 領域実習が始まり、これまで様々な施設や病院で実習を経験する中で、教科書で学んだ知識だけではなく、実際の看護場面では対象者の状態や思い、生活背景、環境に応じて考え、根拠をもって判断する力が求められることを学びました。また、病気だけに目を向けるのではなく、患者さんの立場に立って物事を考え、その人の思いや価値観、その人らしさを尊重しながら、一人ひとりに合わせた個性のある看護を実践することの大切さを実感しました。実習では慣れない環境や初めて経験することも多く、大変さや難しさを感じる場面もありますが、患者さんの笑顔や「ありがとう」という感謝の言葉に励まされ、看護のやりがいや喜びを感じています。これからの実習でも、一つひとつの経験を大切にしながら、学んだ知識や技術を実践につなげ、根拠をもって考え行動できる力を身につけていきたいです。そして、患者さん一人ひとりに寄り添い、安心と信頼を与えられる看護師を目指して、主体的に学び続けていきたいと思っています。

1年生

入学式を終えて



- ※ 今振り返ると、高校の3年間はあっという間でした。きっとこれからの3年間も一瞬で過ぎていくと思います。だからこそ一日の時間の使い方を考え、今できることをコツコツ努力していきたいと思います。
- ※ これからの学びを通して、看護に必要な専門的な知識や技術を身につけるだけでなく、一人ひとりの思いや背景を理解できる看護師としての姿勢を学んでいきたいです。仲間と支えあいながら学びを深め、多くの経験を積むことで、人としても成長していきたいと思っています。
- ※ 自身の夢を現実に行き届けるよう、頑張っていきたいです。



2年生

交流会

- ※ 4月に交流会があり、先輩や後輩とたくさん話をすることができ、とても有意義な時間を過ごせました。私自身、1年生の頃は学校生活や勉強、実習への不安がありました。交流会で先輩方から授業や学校生活についてのお話を聞き、安心できたことがとても印象に残っています。だからこそ今年は2年生として、少しでも1年生の不安を和らげられるよう、自分が1年生の頃に楽しかった授業や学校生活について伝えながら交流しました。また、3年生の先輩方からは、2年生で大変なことや実習についてのお話を聞くことができ、これからの学校生活への参考になりました。学年を超えて交流できる機会はとても貴重であり、先輩や後輩とのつながりを深められるこのような交流する機会をこれからも大切にしていきたいです。
- ※ 話したことのない先輩や後輩が多く、初めて行く場所での食べ歩きということでとても楽しみにしていました。特に印象に残っているのは先輩がおすめしてくださった焼き物が衝撃を受けるほどおいしかったです。美味しいものをたくさん食べながら、先輩とは不安に感じているこれからの実習についての話を聞かせてもらったり学校のこと以外にもだんだんと緊張が解けていろんな話をすることができました。後輩とも学校生活はどんな感じか、慣れてきたかなどいろいろ話することができました。先生とも普段はあまり喋ることができないけど、写真を撮ることや一緒に楽しい時間を過ごすことができ、とても良い機会だったと思いました。来年はどこに行くかとても楽しみです。



今後の予定



3年生臨地実習 前期終了
7/23 灯りのリレー



※夏休み※
7/28・29 8/20・21 学校説明会



2年生 基礎Ⅱ期実習
3年生 領域実習 後期スタート